

学習院大学図書館

第 246 回 所蔵資料展示

# 天空の聖地・高野山

～ 高野山開創 1200 年 ～



和歌山県にある高野山。

標高 800m を超える山々の上に 100 余りの寺院と巨大な伽藍のある真言密教の聖地です。

2015 年は空海が高野山を開創してから 1200 年。

かつては、「女人禁制」だった場所が、2004 年にはユネスコの「世界遺産」に登録され、世界各国から観光客を迎えるようになりました。

今回の展示では「高野山」についてさまざまな視点から書かれた資料を選んでみました。

# I 「高野山」とは？

816年に空海は嵯峨天皇から真言密教の道場を開くために高野山の地を賜りました。開創から1872年(明治5年)まで、宗教修行の地域・霊場などへの女性の立ち入りを禁止する「女人禁制」を維持してきたことも特徴の1つに挙げられます。ここでは、高野山について全般的に書かれた本をはじめ、歴史について書かれた本を集めました。



## ■ 「全般」について

タイトル	著者	配架場所	請求記号
高野山(岩波新書 新赤版 1508)	松長有慶	大学図・1F 開架	081.2/2C/1508
巡礼高野山(とんぼの本)	永坂嘉光, 山陰加春夫, 中上紀	大学図・1F 開架	185/105
高野山 (ブック・オブ・ブックス 日本の美術 47)	山本智教	大学図・書庫	188.4/22
高野山(日本の古寺美術 9)	山田耕二	大学図・書庫	702.1/121/9

## ■ 「歴史」について

タイトル	著者	配架場所	請求記号
和歌山県の歴史(県史 30)	小山靖憲[ほか]	大学図・1F 開架	216.6A/Ko97w
図説和歌山県の歴史	安藤精一編	法経図・書庫	210.08/76/30
比叡山と高野山：最澄と空海を中心として(日本歴史新書)	勝野隆信	大学図・書庫	185/5
中世高野山史の研究	山陰加春夫	法経図・書庫	180/77
中世寺院と「悪党」	山陰加春夫	法経図・書庫	185/1//N
きのくにに荘園の世界：学ぶ・歩く・調べる(上巻)(下巻)	山陰加春夫編	大学図・1F 開架	(上巻)214.9/37/1 (下巻)214.9/37/2
きのくにの歩み--人々の生活と文化	和歌山県立博物館編	大学図・書庫	214.9/26

## ■ 「女人禁制」について

タイトル	著者	配架場所	請求記号
女の力：古代の女性と仏教 (平凡社選書 110)	西口順子	女大図・開架	180.2/57
女の領域・男の領域 (いくつもの日本 6)	赤坂憲雄[ほか]編	大学図・1F 開架	210.08/122/6
禁忌と日本人 (日本人の歴史 第11巻)	樋口清之	大学図・1F 開架	210.09/97/11
女人、老人、子ども（日本の中世4）	田端泰子,細川涼一	大学図・1F 開架	210.4/281/4
女人禁制 (歴史文化ライブラリー 138)	鈴木正崇	女大図・開架	387/166

### ☆ 高野山の位置 ☆



## Ⅱ 「高野山」と縁のある人々

高野山を開創した「空海(弘法大師)」とはどのような人でしょうか？  
また、高野山には修行、参詣、配流など、さまざまな理由で訪れた人がいます。  
ここでは、空海をはじめ高野山と縁のある歴史上の人物について書かれた本を集めました。

### ■ 「空海」について

タイトル	著者	配架場所	請求記号
三人の祖師：最澄空海親鸞	梅原猛	大学図・書庫	081.1/164/9
密教の聖者空海（日本の名僧 4）	高木紳元	大学図・1F 開架	180.28/21/4
空海のことばと芸術 (NHK ライブラリー 154)	真鍋俊照	大学図・1F 開架	188.4/118
平安のマルチ文化人空海 (NHK ライブラリー 200)	頼富本宏	大学図・1F 開架	188.4/151
空海：人間の能力を最高に開花させる「マンダラカ」(齋藤孝の天才伝 4)	齋藤孝	大学図・1F 開架	188.4/155
謎の空海：誰もがわかる空海入門	三田誠広	大学図・1F 開架	188.4/158
空海をめぐる人物日本密教史	正木晃	大学図・1F 開架	188.4/182
空海読み解き事典	小峰彌彦編著	大学図・1F 開架	188.5A/Ku27k
空海：真言密教の扉を開いた傑僧 (別冊太陽 日本のこころ 187)		大学図・書庫	188.5A/Ku27k
空海と密教美術(角川選書 517)	正木晃	大学図・1F 開架	188.5A/Ku27m
弘法大師紀行	真鍋俊照	大学図・1F 開架	291.08/11 ア/16
名僧の書：歴史をつくった50人	石川九楊	大学図・1F 開架	728.21A/l76m
弘法大師空海・人と書	木本南邨	大学図・1F 開架	728/349



## ■ 高野山と縁のある人々

タイトル	著者	配架場所	請求記号
西行(人物叢書 180)	目崎徳衛	大学図・書庫	281/8/180
西行：捨てて生きる (別冊太陽 日本のころ 168)		大学図・書庫	911.14A/Sa18s
西行の旅路	岡田喜秋	大学図・1F 開架	911.23/125
西行と清盛：時代を拓いた二人 (新潮選書)	五味文彦	大学図・書庫	911.14A/Sa18g
平清盛(人物叢書 219)	五味文彦	大学図・書庫	281/8/219
平清盛：王朝への挑戦 (別冊太陽 日本のころ 190)	高橋昌明編	大学図・書庫	289.1A/Ta23t
豊臣秀次(人物叢書 280)	藤田恒春	大学図・書庫	281/8/280
木食応其：秀吉から高野山を救った僧	和歌山県立博物館編	大学図・書庫	188.5A/O25w
真田昌幸(人物叢書 219)	柴辻俊六	大学図・書庫	281/8/209
真田幸村：伝説になった英雄の実像 (PHP 新書 356)	山村竜也	大学図・1F 開架	289.1/1820
秀吉の天下統一戦争 (戦争の日本史 15)	小和田哲男	大学図・1F 開架	210.09/223/15



### Ⅲ 「高野山」を舞台にした作品

1200年の歴史をもつ高野山。高野山を題材に詠まれた和歌、「女人禁制」によって生まれた悲恋など、高野山を舞台にした文学作品も数多くあります。

【「※」:対象作品】

タイトル	著者	配架場所	請求記号
平家物語 (1巻)(2巻) (新編日本古典文学全集 45,46) ※ 巻10「横笛」「高野」など	市古貞次校注・ 訳	大学図・1F 開架	(1巻)910.82/41/45 (2巻)910.82/41/46
平家物語絵巻 巻第10	小松茂美編	女大図・開架	721/84/10/大型本
西行全歌集 (岩波文庫黄(30)-023-2)	[西行著]; 久保 田淳, 吉野朋美 校注	大学図・1F 開架	081.2/33B ア/323
説経節: 山椒太夫・小栗判官他 (東洋文庫 243) ※ 『苺萱』	荒木繁, 山本吉 左右編注	大学図・1F 開架	080/4 イ/243
英草紙; 西山物語; 雨月物語; 春雨 物語 (新編日本古典文学全集 78) ※ 『雨月物語』巻3「仏法僧」		大学図・1F 開架	910.82/41/78
雨月物語紀行(歴史と文学の旅 25)	後藤明生	大学図・1F 開架	291.08/11 ア/25
ガイアの樹: 南方熊楠の風景	田中宏和	大学図・1F 開架	289.1/1852
瀧口入道 改版 (岩波文庫緑(31)-017-1,緑-51,1845)	高山樗牛	大学図・書庫	081.2/33C/51
高丘親王航海記; 裸婦の中の裸婦; 都心ノ病院ニテ幻覚ヲ見タルコト; 補 遺 1986~87年(澁澤龍彦全集 22) ※ 『高丘親王航海記』	澁澤龍彦	大学図・書庫	910.81/268/22
西行	白洲正子	大学図・1F 開架	Shincho/L 20/2
白洲正子全集 第5巻 ※ 『かくれ里』	白洲正子	大学図・書庫	081.1/166/5
紀州: 木の国・根の国物語	中上健次	大学図・1F 開架	Kadokawa/な 22/2



## ■ 「奥之院」にある石碑

高野山東側に位置する「奥之院」には弘法大師(空海)が入定している御廟があります。その参道には戦国武将の供養塔をはじめ、高野山と縁のある人々の石碑があります。ここでは、奥之院にある石碑に刻まれている作品、関連する本を集めました。

### 1): 松尾芭蕉 「ちちははのしきりにこひし雉の声」

1709年に刊行された俳諧紀行『笈の小文』で、1688年に吉野から高野山へ入っています。

この時に詠まれた「ちちははのしきりにこひし雉の声」の句碑があります。

タイトル	著者	配架場所	請求記号
芭蕉紀行文集：付嵯峨日記 (岩波文庫黄(30)-206-1,)	[松尾芭蕉著]; 中村俊定校注	大学図・1F 開架	081.2/33B ア/163
松尾芭蕉集 第2巻 (新編日本古典文学全集 71)	[松尾芭蕉著]; 井本 農一, 堀信夫注解	大学図・1F 開架	910.82/41/71

### 2): 高濱虚子 「炎天の空美しや高野山」

昭和2年に高野山大学で開催された学会に出席した時に高野山を訪れています。この時に詠まれた「炎天の空美しや高野山」の句碑があります。

タイトル	著者	配架場所	請求記号
高濱虚子・河東碧梧桐集 (日本現代文学全集 25)	伊藤整 [ほか] 編	大学図・1F 開架	918.6A/N71n/25

### 3): 与謝野晶子 「やは肌のあつき血潮にふれも見で

さびしからずや道を説く君」

1931年(昭和6年)8月に高野山大学で開催された学会に出席するために夫・与謝野鉄幹と共に高野山を訪れています。1942年(昭和17年)に刊行された歌集『白桜集』2380-2382番をはじめ、高野山について詠んだ歌が数首あります。奥之院には「やは肌のあつき血潮にふれも見でさびしからずや道を説く君」の歌碑があります。

タイトル	著者	配架場所	請求記号
評伝与謝野寛晶子 昭和篇	逸見久美	大学図・1F 開架	911.162A/Y85i/3
与謝野晶子(コレクション日本歌人選 39)	入江春行	大学図・1F 開架	911.1A/Ko79k/39
与謝野寛遺稿歌集 / 白桜集 (鉄幹晶子全集 31)	与謝野寛/ 与謝野晶子	大学図・書庫	918.6A/Te31t/31

#### 4)： 司馬遼太郎

『空海の風景』をはじめ、高野山と縁のある作品を残している司馬遼太郎の記念碑が「高野山開創1200年記念大法会」記念事業の一環で奥之院に設置されています。

参考文献：司馬さん文学碑高野山で除幕式，朝日新聞(大阪)，2008-09-24，夕刊，12ページ，聞蔵Ⅱビジュアル，  
<http://database.asahi.com/library2/main/start.php>（参照:2015-05-21）

タイトル	著者	配架場所	請求記号
空海の風景；鬼灯(司馬遼太郎全集 39)	司馬遼太郎	大学図・書庫	910.81/120/39
司馬遼太郎歴史のなかの邂逅 第1巻	司馬遼太郎	大学図・1F 開架	914.7/921/1
信州佐久平みち、湯のみち：ほか (街道をゆく:ワイド版 9) ※『高野山みち』	司馬遼太郎	大学図・書庫	914.7/868/9



## IV 「高野〇〇」

辞書・辞典類には「高野〇〇」と書かれた語が数多く掲載されています。これらの単語は「高野山」と縁のあることから生まれた単語です。その中の代表的な言葉と関連する本などを集めてみました。

### ■ 「高野聖」

高野山から出て諸国を遊行国し、弘法大師空海と高野山の靈験を説いた僧のこと。

(『日本大百科全書』より)

タイトル	著者	配架場所	請求記号
歌行燈；高野聖	泉鏡花	大学図・1F 開架	Shincho/い 6/1
高野山信仰の成立と展開	村上弘子	大学図・1F 開架	188.5A/Mu43k

## ■ 「高野紙」「高野版」

高野山周辺では古くから「高野紙」と呼ばれる和紙を生産し、その和紙で「高野版」と呼ばれる仏典類を出版していました。



タイトル	著者	配架場所	請求記号
紙のふるさとを行く：歴史の中の和紙のはなし	町田誠之	女大図・開架	210.04/25
高野山正智院伝来資料による中世和紙の調査研究	山本信吉, 宍倉佐敏編	史学科・地庫	585/48
和歌山・高野山と紀ノ川	藤本清二郎, 山陰加春夫 編	大学図・1F 開架	210.08/121/35
高野板（高野山の研究：水原堯榮の軌跡 第2巻）	水原堯榮	哲学科・書庫	188.5A/Ko97k/2

## ■ 「コウヤマキ」「コウヤボウキ」など 《植物について》

高野山で多く生育されたことから名づけられた「高野槇(コウヤマキ)」、「高野箒」という高野山で 사용되는箒の材料になった「コウヤボウキ」など高野山と関わりの深い植物があります。



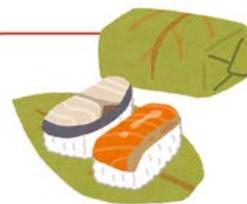
タイトル	著者	配架場所	請求記号
日本の美林（岩波新書 新赤版 516）	井原俊一	大学図・1F 開架	081.2/2C/516
原色牧野植物大圖鑑 合弁花・離弁花編	牧野富太郎	大学図・2F 参考	470.3A/Ma35g/1

## ■ 「高野豆腐」 《食文化について》

高野山の宿坊で作られたことから「高野豆腐」と名付けられた「凍り豆腐」は現在の我々の食卓でも身近な食材の1つです。「高野豆腐」をはじめ、豆腐類は寺院で食される「精進料理」で欠かせないものになっています。また、和歌山県では多種多様な「なれずし」があり、高野山周辺では「柿の葉ずし」が郷土料理の1つです。



タイトル	著者	配架場所	請求記号
聞き書和歌山の食事 (日本の食生活全集 30)	「日本の食生活全集和歌山」編集委員会編	法経図・書庫-	590/13/30
食の民俗事典	野本寛一 編	大学図・1F 開架	383.8A/N94s
日本食物史	江原絢子 ほか	大学図・1F 開架	383.8A/E34n
すしの歴史を訪ねる (岩波新書 新赤版 641)	日比野光敏	大学図・1F 開架	081.2/2C/641
すし なれずし (聞き書ふるさとの家庭料理 1)	農山漁村文化協会編	女大図・開架	598.2/90/1
味噌 豆腐 納豆 (聞き書ふるさとの家庭料理 16)	農山漁村文化協会編	女大図・開架	598.2/90/16



## V 仏教美術・芸術からみた「高野山」

高野山には国宝・重要文化財に指定されている作品も多くあります。「曼荼羅」「仏像」をはじめ、「高野山」の美術・芸術などについて書かれた本を集めました。

タイトル	著者	配架場所	請求記号
高野山と吉野・紀伊の古寺 (全集日本の古寺 第16巻)	下出積与ほか	大学図・書庫	185/29/16
寺社の装飾彫刻 近畿編	若林純	大学図・1F 開架	521.81A/W17j/4
世界遺産高野山の歴史と秘宝	井筒信隆	大学図・書庫	702.08/141
曼荼羅の宇宙:東寺・高野山と密教の寺々	杉浦康平,濱田隆	大学図・書庫	702.1/109/4
東寺と高野山(名宝日本の美術 8)	関口正之執筆	哲学科・開架	702.1/68/8
高野山の文化財	松下隆章監修	女大図・書庫	709.2/T2//Tominaga
仏涅槃図 :高野山:大いなる死の造形 (絵は語る 2)	泉武夫	大学図・書庫	721/351/2
阿弥陀聖衆来迎図 :高野山:夢見る力 (絵は語る 3)	須藤弘敏	大学図・書庫	721/351/3
きのくに仮面の世界 : 高野山周辺の 芸能と紀伊徳川家の能	和歌山県立博物館編	大学図・書庫	774/122

## VI 世界遺産に登録された「高野山」

2004年7月、高野山は「熊野三山」「吉野・大峯」と、これらを結ぶ「参詣道」とともに「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。ここでは、高野山、及び共に世界遺産に登録された霊場、参詣道について書かれた本を集めました。

タイトル	著者	配架場所	請求記号
ユネスコ世界遺産年報 = The yearbook of the world heritage 2005年	日本ユネスコ協会連盟	大学図・書庫	709/20/IP
南紀と熊野古道 (街道の日本史 36)	小山靖憲, 笠原正夫 編	大学図・1F 開架	210.08/121/36
世界遺産吉野・高野・熊野をゆく : 霊場と参詣の道 (朝日選書 758)	小山靖憲	大学図・1F 開架	291.49/5
平安の都市と文化 (史跡で読む日本の歴史 5)	増淵徹 編	大学図・1F 開架	210.1A/Sh89s/5
きのくに史跡めぐり	和歌山県立博物館	大学図・書庫	214.9/29
日本の世界遺産 総集編	世界遺産総合研究所	大学図・1F 開架	709.1A/Se22n/3
紀伊・熊野路 : 熊野街道・紀ノ川筋・高野街道・参宮街道 (日本の道シリーズ)	毎日新聞社	大学図・書庫	291.4/1
熊野古道 (岩波新書新赤版 665)	小山靖憲	大学図・1F 開架	081.2/2C/665
写真記録日本の街道 紀伊・熊野路	写真記録刊行会編	大学図・1F 開架	291.08A/Sh13s/6
熊野詣 : 三山信仰と文化 (講談社学術文庫 1685)	五来重	大学図・1F 開架	081.2/61/1685
修験の世界 : 始原の生命宇宙 (講談社学術文庫 1701)	久保田展弘	大学図・1F 開架	081.2/61/1701





世界遺産に登録されたことで海外からの観光客も年々増え続けている高野山。和歌山県観光交流部 HP によると、2013 年度(平成 25 年度)は和歌山県に宿泊した外国人約 21 万人のうち、5 万人強の人が高野山に宿泊しています。それに伴い、外国語に対応できる寺院をはじめ、外国人修行者を受け入れている寺院もあります。

今年で 1200 年を迎えた高野山。徐々に変わりつつある高野山に対し、少しでも身近な印象を抱いていただければ幸いです。

なお、本学では学部・学科図書室をはじめ、今回紹介できなかった高野山関係の資料がたくさんあります。是非、そちらも手にとってみてください。

参考 URL : 和歌山県観光交流部 [http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/press/260415/260415\\_4.pdf](http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/press/260415/260415_4.pdf)

(参照 2015-05-22)



「天空の聖地・高野山 ～高野山開創 1200 年～」

平成 27 年 6 月 1 日発行

担当 : 大学図書館情報管理課

橋本尚美

本冊子は大学図書館ホームページでも公開しております

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/exhibition.html>